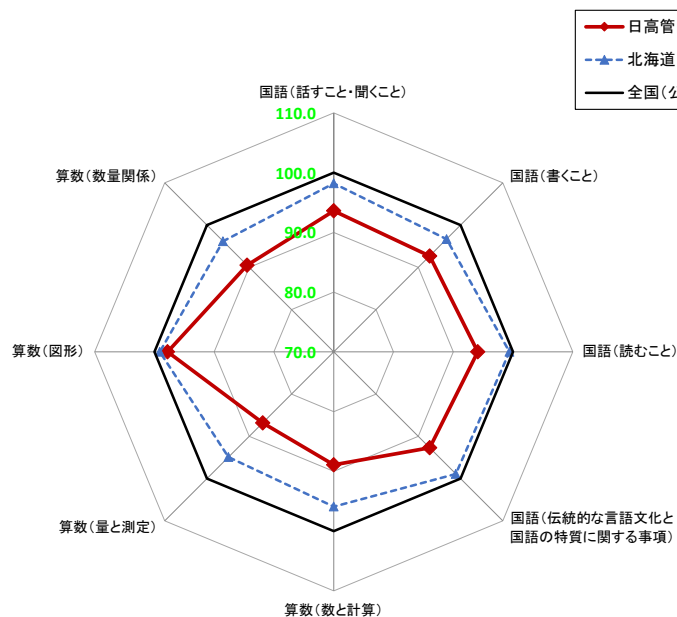


■小学校の状況(学校数:27校、児童数:510人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものを

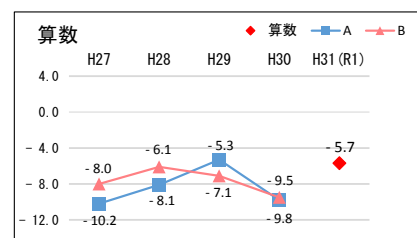
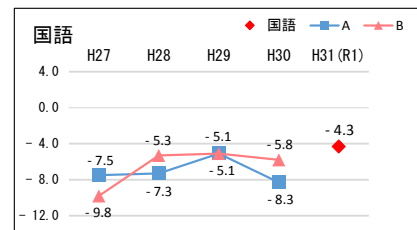
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
日高	60[59.5]	61[60.9]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

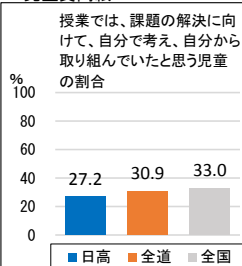


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

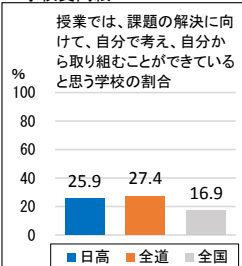
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

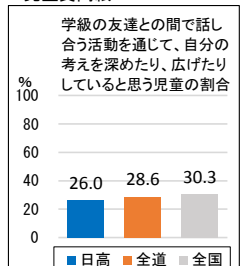
* 児童質問紙



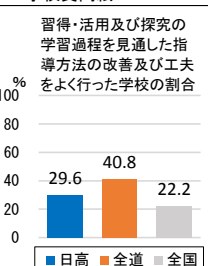
* 学校質問紙



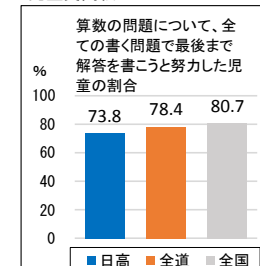
* 児童質問紙



* 学校質問紙

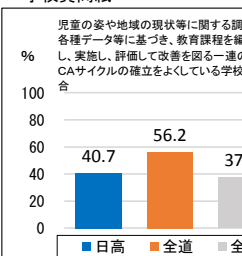


* 児童質問紙

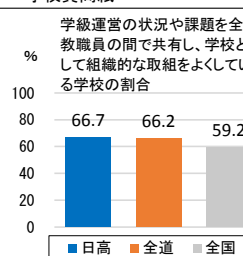


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

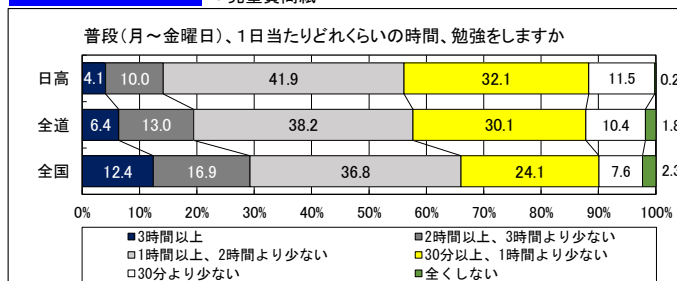


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



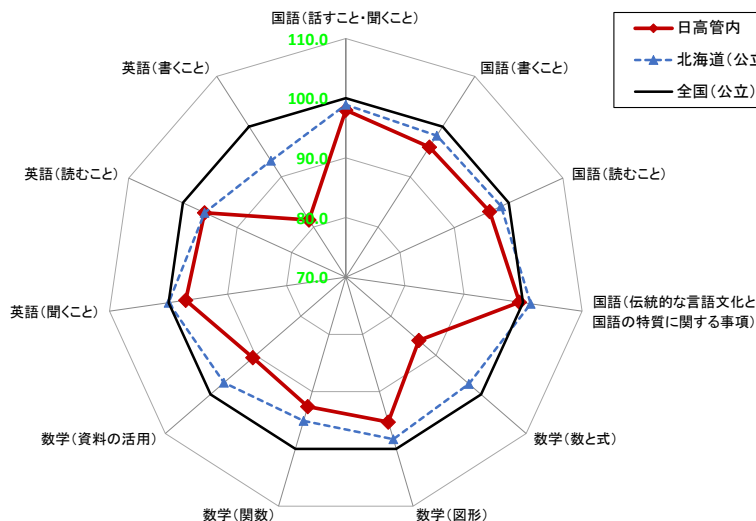
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 学校の小規模化に伴い、同一学年、同一教科の教師が複数名いないことや短い期間に同一単元を繰り返し指導する機会が少ないこと、初任段階教員の割合が高いという現状があり、各学校の授業改善の取組のより一層の充実が課題である。 ○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよくしている学校の割合は66.7%で、全国及び全道を上回っているが、算数の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合は73.8%、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上家庭学習をしている児童の割合は56.0%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ 管内独自事業「学校間ネットワーク強化事業」において、授業改善等支援事業拠点校や学校方向に関する総合実践事業実践指定校の学校における授業参観を推進することにより、他校の優れた授業実践を参観したり、経験豊富な教員と研究協議をしたりすることを通して、各教員の授業の質を高めるとともに、各学校での組織的な授業改善の取組をより一層充実させる必要がある。 ○ 管内独自事業「主体的・対話的で深い学びを実現する校内研修イノベーション事業」により組織的に授業改善を図っている学校の成果を授業実践の参観や授業DVDの視聴を通して普及することにより、学びを自己調整する力を育む学習指導と学習評価の充実を図り、自己肯定感を高める学習指導の工夫を図るとともに、eラーニング等のICTを活用した家庭学習の取組を例示するなど、学習習慣の確立に向けた取組をより一層充実させる必要がある。

■中学校の状況(学校数:15校、生徒数:474人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

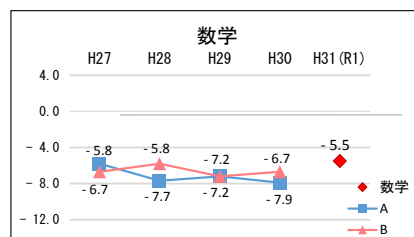
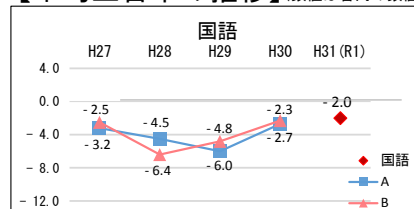


【平均正答率】

	国語	数学	英語
日高	71[70.8]	54[54.3]	51[51.4]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

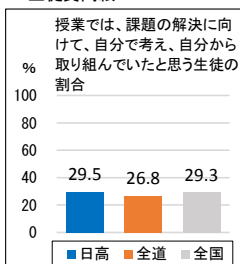


※「管内の平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の経年変化

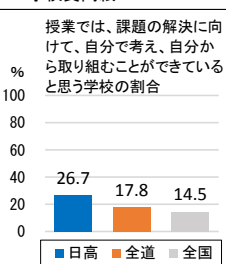
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

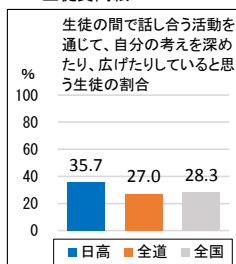
* 生徒質問紙



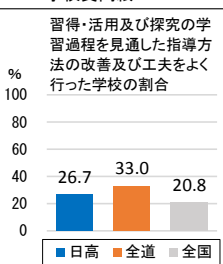
* 学校質問紙



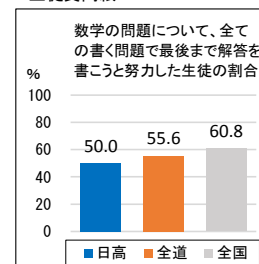
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

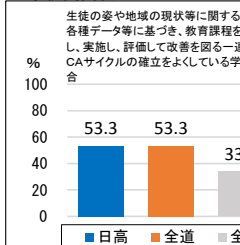


* 生徒質問紙

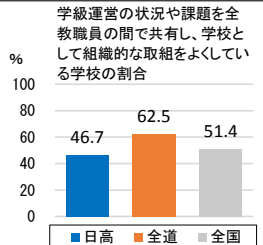


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

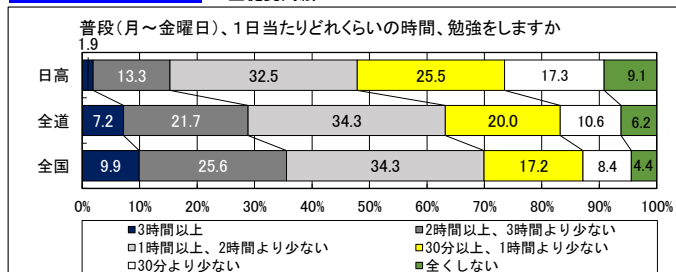


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



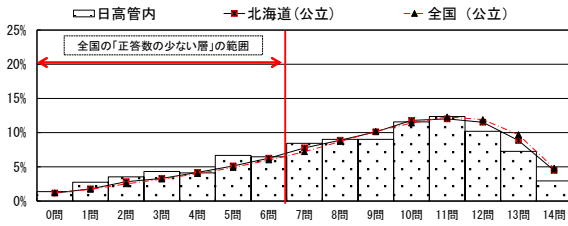
【分析及び改善の方向性】

分析	○ 学校の小規模化に伴い、同一学年、同一教科の教師が複数名いないことや短い期間に同一単元を繰り返し指導する機会が少なく、初任段階教員の割合が高いという現状があり、各教員の授業の質の向上、各学校の授業改善の取組のより一層の充実が課題である。 ○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的な取組をよけている学校の割合は46.7%、数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は50.0%、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上家庭学習をしている生徒の割合は47.7%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	○ 管内独自事業「学校間ネットワーク強化事業」において、授業改善等支援事業拠点校や学校力向上に関する総合実践事業実践指定校の学校における授業参観を推進することにより、他校の優れた授業実践を参観したり、経験豊富な教員と研究協議をしたりすることを通して、各教員の授業の質を高めるとともに、各学校での組織的な授業改善の取組をより一層充実させる必要がある。 ○ 管内独自事業「主体的・対話的で深い学びを実現する校内研修イノベーション事業」により組織的に授業改善を図っている学校の成果を授業実践の参観や授業DVDの視聴を通して普及することにより、学びを自己調整する力を育む学習指導と学習評価の充実を図り、自己肯定感を高める学習指導の工夫を図るとともに、eラーニング等のICTを活用した家庭学習の取組を例示するなど、学習習慣の確立に向けた取組をより一層充実させる必要がある。

日高管内

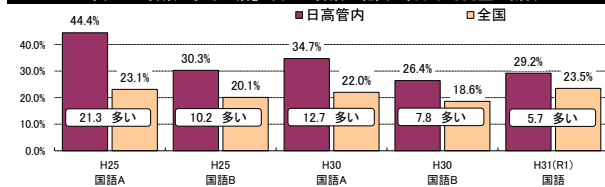
小学校国語

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	510	8.3 / 14	59.5	9.0	3.5
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



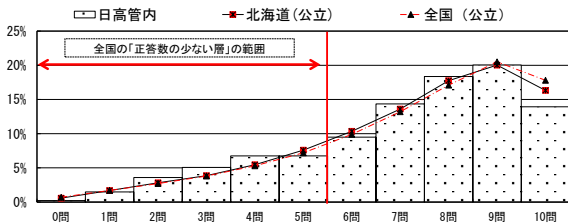
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



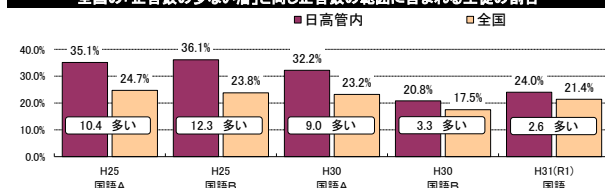
中学校国語

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	474	7.1 / 10	70.8	8.0	2.4
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



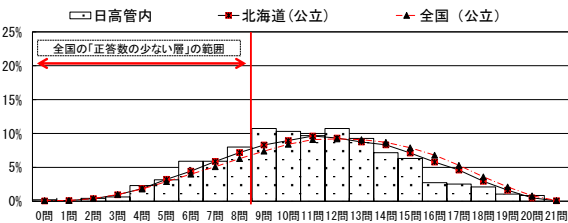
●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	475	10.8 / 21	51.4	11.0	3.6
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



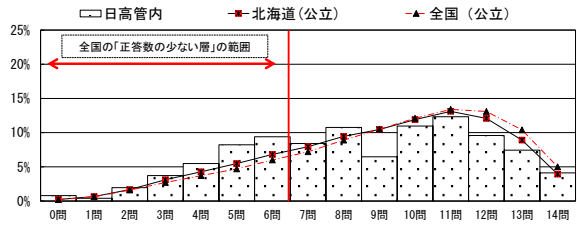
●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



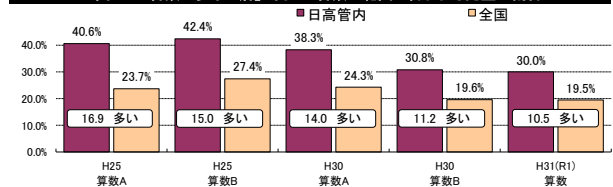
小学校算数

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	511	8.5 / 14	60.9	9.0	3.3
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



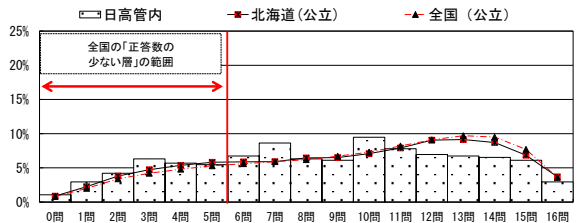
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合



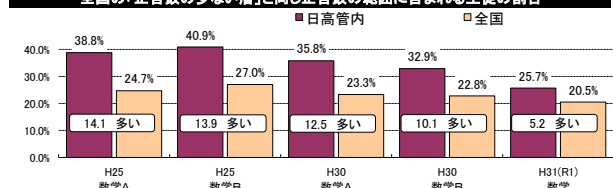
中学校数学

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	475	8.7 / 16	54.3	9.0	4.2
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

日高管内	全国
32.4%	21.3%
全国との差	11.1 多い

小学校国語B

日高管内	全国
38.7%	29.8%
全国との差	8.9 多い

小学校算数A

日高管内	全国
39.9%	24.2%
全国との差	15.7 多い

小学校算数B

日高管内	全国
27.6%	20.0%
全国との差	7.6 多い